

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事		平成30年 7月26日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市下京区塩小路通堀川東入南不動堂町801番地		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） オムロン株式会社 代表取締役社長 山田 義仁
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO14001:2015 (JIS Q14001:2015)	
適 用 範 囲	オムロン株式会社 京都事業所	
導 入 年 月 日	2001年 4月 3日	
認 証 番 号	3516807-3517771	
基 本 方 針	私たちは、オムロングループの企業理念に基づき、地球環境に貢献する商品・サービスの提供と、すべての経営資源を最大限、有効に活用することにより、グローバルで持続可能な社会の実現に貢献していきます。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	2017年度目標 ■省エネルギー（電力使用量削減） 2016年度実績値以下 ■資源循環（廃棄物発生量削減） 2016年度実績値以下	
目標を達成するための取組の内容	■省エネルギー（電力使用量削減） ・省エネ設備実施に伴う空調制御・CGSの最適化運転・夜間外灯消灯 ■資源循環（廃棄物発生量削減） ・排出内容の随時チェック・分別廃棄の徹底	
目標を達成するための取組の進捗状況	■省エネルギー（電力使用量削減） 2016年度実績比 100.4% ■資源循環（廃棄物発生量削減） 2016年度実績比 102.1%	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	電力使用量が目標値を超過した。年度下期に前年度の使用量を超える形となった。 廃棄物発生量が目標値を超過した。引越越し、レイアウト変更が前年度以上であった為、廃棄物が多く発生した。 執務環境の見直しによる電力使用量の増加、引越越し、レイアウト変更など突発的は廃棄等予測できない部分での廃棄物発生についてはコントロールが難しい。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	環境関連法規の最新化及び順守状況については、環境事務局が中心となり毎月確認を行っている。これまで違反及び行政からの指導は受けていない。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	ISO14001の要求事項に従い、毎年1月にマネジメントレビューを実施し、EMSの評価および見直しを実施している。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。